I . 概 要

1. 沿 革

明治30 (1897).	6	京都帝国大学設置
大正10 (1921).	4	芦生演習林設置 (京都府北桑田郡知井村)
12 (1923).	11	農学部設置
13 (1924).	1	農作園芸学・林学・農林化学・農林生物学・農林工学・農林経済学の6 学科設置
13 (1924).	5	附属農場・附属演習林設置
14 (1925).		農作園芸学科を農学科に改称
15 (1926).	1	和歌山演習林設置 (和歌山県有田郡八幡村)
15 (1926).	9	演習林上賀茂試験地設置 (京都市上京区上賀茂)
昭和3 (1928).	11	摂津農場設置 (大阪府三島郡磐手村大字安満)
4 (1929).	1	摂津農場古曾部園芸場設置 (大阪府三島郡磐手村大字古曾部)
6 (1931).	3	徳山砂防演習地設置 (徳山市笹葉ヶ丘)
12 (1937).	5	大島植物試験地設置 (和歌山県西牟婁郡串本町)
17 (1942).	3	演習林徳山試験地設置 (旧徳山砂防演習地)
22 (1947).	1	水産学科設置
22 (1947).	10	京都帝国大学を京都大学と改称
24 (1949).	4	北海道演習林標茶経営区設置 (北海道白糖郡白糖村)
24 (1949).	5	新制京都大学設置
25 (1950).	2	演習林白浜試験地設置 (和歌山県西牟婁郡白浜町)
25 (1950).	6	北海道演習林白糖経営区設置 (北海道白糖郡白糖村)
28 (1953).		農林化学科、農林工学科をそれぞれ農芸化学科、農業工学科に改称
28 (1953).	4	大学院農学研究科 (農学専攻、林学専攻、農芸化学専攻、農林生物学専 攻、農業工学専攻、農林経済学専攻、水産学専攻) 設置
33 (1958).	4	附属簿記研究施設設置
34 (1959).	2	農業植物試験所設置 (京都府乙訓郡向日町)
35 (1960).	7	高原畜産試験牧場設置 (京都府船井郡丹波町)
36 (1961).	11	農場機構の改正により、摂津農場を本場、古曾部園芸場を古曾部温室部 と改称
38 (1963).	4	附属農薬研究施設設置
40 (1965).	4	林産工学科設置
42 (1967).	4	食品工学科設置
42 (1967).	6	附属亜熱帯植物実験所設置 (旧大島植物試験地)
44 (1969).	4	林産工学専攻設置
46 (1971).	4	附属植物生殖質研究施設設置 (旧農業植物試験所) 食品工学専攻設置
47 (1972).	4	畜産学科設置
47 (1972).	5	附属水産実験所設置 (舞鶴市字長浜)
49 (1974).	4	附属牧場設置 (旧高原畜産試験牧場)

昭和51 (1976).	4	畜産学専攻設置
56 (1981).	4	熱帯農学専攻設置
57 (1982).	4	附属生物細胞生産制御実験センター設置
平成2 (1990).	6	農芸化学科の改組に伴い、附属生物細胞生産制御実験センター廃止
3 (1991).	4	附属農場古曽部温室部を花卉温室部に改組
7 (1995).	4	農学部10学科を生物生産科学科、生物機能科学科及び生産環境科学科の 3学科に改組 附属農業簿記研究施設廃止 地域環境科学専攻及び生物資源経済学専攻設置（再編整備）
8 (1996).	5	附属植物生殖質研究施設廃止 森林科学専攻及び応用生物科学専攻設置（再編整備）
9 (1997).	4	附属農薬研究施設廃止 農学専攻及び応用生命科学専攻設置（再編整備）
10 (1998).	4	附属農場・附属演習林・附属亜熱帯植物実験所・附属牧場・附属水産実験所は大学院研究科の附属施設に再編
12 (2000).	4	農学部、農場、演習林各事務部を農学部等事務部に統合
13 (2001).	4	農学研究科・食糧科学研究所の改組（統合） 食品生物科学専攻設置（再編整備） 農学部3学科を資源生物科学科、応用生命科学科、地域環境工学科、食料・環境経済学科、森林科学科及び食品生物科学科の6学科に改組
15 (2003).	4	農学研究科附属施設の演習林、亜熱帯植物実験所及び水産実験所が全学共同利用として設置のフィールド科学教育研究センターへ移行
16 (2004).	4	国立大学法人京都大学設立
18 (2006).	4	寄附講座「産業微生物学講座」の設置（3年間）
18 (2006).	10	寄附講座「(味の素) 食の未来戦略講座」の設置（3年間）
19 (2007).	4	寄附講座「食と農の安全・倫理論講座」の設置（3年間）

2. 大学院、学部及び附属施設

大学院

研究科	専攻名	基幹講座名 () 書きは協力講座名
農学研究科 7専攻 32講座 7協力講座 昭和28年4月 開設 〒606-8502 京都市左京区 北白川追分町 TEL. 075-753-6490	農学	作物科学、園芸科学、耕地生態科学、品質科学 (生産管理科学)
	森林科学	森林管理学、森林生産学、緑地環境保全学、生物材料工学、生物材料機能学 (森林資源学)、(木質バイオマス科学)、(木質材料機能学)
	応用生命科学	応用生化学、分子細胞科学、応用微生物学、生物機能化学 (生体分子機能)、(木質生命科学)
	応用生物科学	資源植物科学、植物保護科学、動物遺伝増殖学、動物機能開発学、海洋生物資源学、海洋微生物学、海洋生物生産学
	地域環境科学	比較農業論、生物環境科学、生産生態科学、地域環境開発工学、地域環境管理工学、生物生産工学 (放射線管理学)
	生物資源経済学	農企業経営情報学、国際農林経済学、比較農史農学論
	食品生物科学	食品生命科学、食品健康科学、食品生産工学

学部

学部	学科	学科目
農学部 6学科 6大学科目 大正12年11月開設	資源生物科学科	資源生物科学
	応用生命科学科	応用生命科学
	地域環境工学科	地域環境工学
	食料・環境経済学科	食料・環境経済学
	森林科学科	森林科学
	食品生物科学科	食品生物科学

附属施設

附属施設名	所在地	電話番号
附属農場(本場)	〒569-0096 高槻市八丁畷12-1	072-685-0134
古曾部地区	〒569-1115 高槻市古曾部町2-30	072-685-0221
京都農場	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町	075-753-6403
附属牧場	〒622-0203 京都府船井郡京丹波町富田蒲生野144	0771-82-0047

3. 職員数等

(1) 職員数

(平成19年4月1日現在)

区 分		教授	准教授	講師	助教	計	事務職員	技術職員	計	合計
農 学 専 攻		8	7	2	9	26		3	3	29
森 林 科 学 専 攻		11	8	3	10	32				32
応用生命科学専攻		11	10		14	35		1	1	36
応用生物学専攻		10	13	1	14	38		4	4	42
地域環境科学専攻		9	9	4	16	38				38
生物資源経済学専攻		6	5	2	4	17				17
食品生物学専攻		6	7		7	20		1	1	21
小 計		61	59	12	74	206		9	9	215
農 場		1	1		5	7		15	15	22
牧 場			1			1		5	5	6
小 計		1	2		5	8		20	20	28
事 務 部	事 務 部 長						1		1	1
	総 務 課						30	1	31	31
	経 理 課						34	3	37	37
	教育・研究協力課						11		11	11
小 計							76	4	80	80
合 計		62	61	12	79	214	76	33	109	323

(2) 役 職 員

平成19年4月1日現在

研究科長(学部長)	奥村正悟
副研究科長	遠藤隆
副研究科長	伏木亨
副研究科長	平田孝
副研究科長	植田和光
(専攻)	
農学専攻長	富永達
森林科学専攻長	太田誠一
応用生命科学専攻長	宮川恒
応用生物学専攻長	佐久間正幸
地域環境科学専攻長	二井一禎
生物資源経済学専攻長	新山陽子
食品生物学専攻長	村田幸作
(学科)	
資源生物学科長	左子芳彦
応用生命科学科長	間藤徹
地域環境工学科長	梅田幹雄
食料・環境経済学科長	吉田昌之
森林科学科長	東順一
食品生物学科長	安達修二
(附属施設)	
農場長	山田利昭
牧場長	久米新一
(事務部)	
事務部長	小坂吉美
総務課長	松本道雄
経理課長	丸岡正雄
教育・研究協力課長	西村幸江

4. 学部学生及び平成18年度入学状況

(平成19年1月1日現在)

区 分	学 部 学 生 数				入 学 員	志 願 者 数		入 学 者 数	
	1年次	2年次	3年次	4年次		男	女	男	女
生物生産科学科					300	907	393	202	108
生物機能科学科									
生産環境科学科									
資源生物科学科	96 (1)	95	94	108 (1)	300	907 (7)	393 (7)	202 (1)	108 (1)
応用生命科学科	51 (1)	50	53 (1)	59 (1)					
地域環境工学科	38	36 (1)	31 (1)	41					
食料・環境経済学科	34	33 (1)	32	33					
森林科学科	58	60	58	63 (1)					
食品生物科学科	33	34 (1)	34	37					
計	310 (2)	308 (3)	302 (2)	358 (3)					

※ () 内は、外国人留学生の数で外数。

5. 大学院学生及び平成18年度入学状況

(平成19年1月1日現在)

区 分	修士課程学生数		入学 定員	志願者数		入学者数		博士後期課程学生数			入学 定員	志願者数		入学者数	
	1年次	2年次		男	女	男	女	1年次	2年次	3年次		男	女	男	女
農 学 専 攻	30	28	23	20	19	16	14	11	13	15	11	7	4	7	4
森 林 科 学 専 攻	48	48	45	45	21	31	17	18	15	34	22	12	7	11	7
応用生命科学専攻	71	75	48	70	38	44	27	13	16	27	22	11	3	10	3
応用生物科学専攻	53	56	50	55	20	38	13	12	16	36	23	15	1	11	1
地域環境科学専攻	51	50	48	46	24	32	19	7	15	28	20	7	1	6	1
生物資源経済学専攻	24	23	24	21	16	15	10	9	5	20	11	6	3	6	3
食品生物科学専攻	34	30	25	25	31	16	19	4	11	12	11	5	0	4	0
計	311	310	263	282	169	192	119	74	91	172	120	63	19	55	19

(注) 志願者数及び入学者数は、平成18年10月入学者を含む。

6. 農学部卒業生及び大学院修了者の進路（平成18年度）

区 分	農 業	林 業	漁 業	建 設 業	食料・飲料・タバコ	織 維	化学 ・ 石油	鉄 鋼 ・ 金属	機 械 ・ 電気	出 版 ・ 印刷 等	電 力 ・ ガス	運 輸 ・ 通信	卸 売 ・ 小 売	金 融 ・ 保 険	教 育 ・ 団 体	国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	そ の 他	計	科 学 研 究 者	技 術 者	教 員	そ の 他
学部卒業生		2			2	1			3	1		2	5	8	1	2	3	6	36		9		27
修士修了者	2			3	60	7	26	2	20	1		16	9	14	5	7	8	27	207	65	81	4	57
博士後期課程 修了・退学者		1			1		6		6			1			40	1	3	18	77	59	11	7	

7. 平成18年度研究生等

区 分	研 究 生	科 目 履 修 等 生	研 修 員 等	招 へ い 外国人学者	外 国 人 共同研究者
農 学 専 攻	3	1	0	1	3
森 林 科 学 専 攻	1		1	1	1
応 用 生 命 科 学 専 攻	1		0	1	2
応 用 生 物 科 学 専 攻	2		8	0	3
地 域 環 境 科 学 専 攻	5		6	1	7
生 物 資 源 経 済 学 専 攻	4		6	0	0
食 品 生 物 科 学 専 攻	4		0	0	0
牧 場			0	0	0
計	20	1	21	4	16

8. 博士学位授与数（平成18年度）

区 分	平成18年度	
	課程博士	論文博士
農 学 専 攻	7	7
林 学 専 攻		
農 芸 化 学 専 攻		
農 林 生 物 学 専 攻		
農 業 工 学 専 攻		
農 林 経 済 学 専 攻		
水 産 学 専 攻		
林 産 工 学 専 攻		
食 品 工 学 専 攻		
畜 産 学 専 攻		
熱 帯 農 学 専 攻		
森 林 科 学 専 攻	16	2
応 用 生 命 科 学 専 攻	13	2
応 用 生 物 科 学 専 攻	16	21
地 域 環 境 科 学 専 攻	8	4
生 物 資 源 経 済 学 専 攻	1	0
食 品 生 物 科 学 専 攻	13	7
計	74	43

旧 制		641
新 制	課程博士	1,646
	論文博士	2,651
合 計		4,938

9. 予算概要（平成18年度）

収 入

区 分	受入金額
授業料・入学料・検定料	1,374,082千円
受 託 研 究 等	635,390千円
寄 附 金	288,745千円
雑 収 入	94,809千円
計	2,393,026千円

支 出

区 分	支出金額
大 学 運 営 費	4,395,533千円
内 人 件 費	3,461,879千円
訳 物 件 費	933,654千円
施設整備費補助金	0円
受 託 研 究 費 等	658,524千円
寄 附 金	170,437千円
計	5,224,494千円

科学研究費補助金

研 究 種 目	件数	交付金額
特 定 領 域 研 究	12	123,300千円
学 術 創 成 研 究 費	0	0千円
基 盤 研 究（S）	0	0千円
基 盤 研 究（A）	13	143,900千円
基 盤 研 究（B）	55	266,300千円
基 盤 研 究（C）	26	41,800千円
萌 芽 的 研 究	20	27,500千円
若 手 研 究（A）	4	24,300千円
若 手 研 究（B）	20	32,300千円
若手研究（スタートアップ）	3	4,190千円
特別研究員奨励費	40	37,400千円
合 計	193	700,990千円

10. 土地及び建物

(平成19年1月1日現在)

区 分		土 地	建 物	
			建 面 積	延 面 積
農学研究科・農学部		4.8ha	12,978㎡	47,414㎡
附属農場	本 場	15.0	3,137	3,273
	” (古曽部地区)	0.8	1,085	1,085
	京 都 農 場	3.5	343	1,161
附 属 牧 場		15.5	3,785	4,252
(附 属 水 産 実 験 所)		4.1	783	783

職員宿舎を除く。

11. 図書蔵書数

(平成19年3月31日現在)

区 分	図書 (冊)	雑誌 (種)
農 学 専 攻	156,031	2,150
森 林 科 学 専 攻		
応 用 生 命 科 学 専 攻		
応 用 生 物 科 学 専 攻		
地 域 環 境 科 学 専 攻		
生 物 資 源 経 済 学 専 攻		
食 品 生 物 科 学 専 攻		
図 書 室	113,275	2,979
附 属 農 場	225	15
附 属 牧 場	61	16
留 学 生 室	407	22
合 計	269,999	5,182

12. 関係資料

1) 転学部・転学科の状況

年度	転学部（転出）		転学部（転入）		転学科	
	出願数	許可者数	出願数	許可者数	出願数	許可者数
2002	13	8	1	0	5	1
2003	7	3	2	0	18	11
2004	8	4	0	0	19	12
2005	10	7	2	0	12	11
2006	14	7	7	2	23	13
2007	5	3	2	1	11	9

2) 学科コース毎の卒業生数の推移

年度	生物生産科学科		生物機能科学科		生産環境科学科			合計
	資源生物科学	生産システム学	応用生命科学	生物材料科学	生物環境科学	地域環境創造学	生物資源経済学	
2002	96	35	94	34	30	33	50	372
	85	21	79	20	26	27	32	290
2003	92	33	98	42	28	37	48	378
	83	20	86	24	25	33	30	301

上段：4回生数、下段：卒業生数

3) 学科毎の卒業生数の推移

年度	資源生物科学科	応用生命科学科	地域環境工学科	食料・環境経済学科	森林科学科	食品生物科学科	生物生産科学科		生物機能科学科		生産環境科学科			農林生物学科	合計
							資源生物科学	生産システム学	応用生命科学	生物材料科学	生物環境科学	地域環境創造学	生物資源経済学		
2004	99	49	34	27	56	31	9	11	10	17	2	4	16	1	366
	83	45	32	23	51	29	3	3	6	6	2	2	6	1	292
2005	113	55	36	35	61	40	3	5	1	6		2	7		361
	103	50	26	31	51	38	0	0	0	0		0	3		302
2006	109	60	41	33	63	37	2	5	1	5		1	3		360
	97	50	33	21	52	32	1	1	1	2		0	2		292

上段：4回生数、下段：卒業生数

4) 大学院博士後期課程への進学・編入学状況

年度	本学からの進学者	編入学者		進・入学者		
		出願者	入学者	合計	男	女
2002	90	32	29	119	90	29
2003	85	25	21	106	78	28
2004	73	30	22	95	63	32
2005	71	33	26	97	74	23
2006	68	11	6	74	54	18

5) 大学院学生の出身別構成

1. 修士課程

年度	本学農学部	本学他学部	国内他大学	国外他大学	合計
2002	187	1	86	9	283
2003	205	4	79	10	298
2004	201	6	87	12	306
2005	200	3	78	9	290
2006	207	3	93	4	307

2. 博士課程

年度	本学農学研究科	本学他研究科	国内他大学	国外他大学	合計
2002	90	0	14	15	119
2003	84	1	10	11	106
2004	72	3	12	8	95
2005	66	4	10	17	97
2006	66	0	6	2	74

6) 大学院学生の研究指導委託状況

年度	修士課程			博士後期課程		
	国内	国外	合計	国内	国外	合計
2002	2	3	5	5	8	13
2003	1	3	4	4	2	6
2004	7	1	8	7	3	10
2005	8	2	10	6	0	6
2006	1	0	1	4	1	5

7) 研修員等の受入れ

区分	年度	2004	2005	2006
	研修員		17	30
文部省内地研究員				
産業教育内地留学生				
日本学術振興会特別研究員		21	10	9
私学研修員		1		2
公立大学研修員			1	1
一般受託研究員		7	16	17
農林水産技術会議研究員				
農林水産省流動研究員		1		
普及職員国内留学研修員				
工業技術院流動研究員				
科学技術庁国内留学生				
ユネスコ国際大学院研修講座研修生				
外国人受託研修員		2	1	1
国費外国人留学生				
合計		49	58	51

他中国政府派遣研究員2名

ユネスコ国際大学院研修講座研修生外国人共同研究者で報告1名

8) 大学院修士課程修了者の進路状況

年度	修了者	進学	就職	その他	就職先			
					研究者	技術者	教員	その他
2003	267	77	174	16	79	67	0	28
2004	280	72	199	9	59	89	1	50
2005	297	80	210	7	50	105	4	51
2006	268	54	207	7	65	81	4	57

9) 平成18年度 農学研究科修士課程各専攻出身者の活動状況（業種別）

専攻 業種	農学	森林 科学	応用生 命科学	応用生 物科学	地域環 境科学	生物資源 経済学	食品生 物科学	合計
[民間企業]	14	26	54	33	28	10	20	185
(製造業)								
農・林・水産業		1						1
種苗								
食品	9	3	21	12	3		11	59
化学・医薬	2	1	21	1	3		4	32
木材・住宅		1						1
製紙・パルプ		1	1					2
土木建設		1			1			2
電機・機械			2	1	7			10
エネルギー								
その他		5	4	2	2		2	15
(サービス業)								
流通・販売	2	4		3	3	1	1	14
金融・保険・証券		1	1	4	2	5		13
情報	1	2		4	1	2		10
コンサルタント		2			1			3
ジャーナリズム		1				2		3
その他		3	4	6	5		2	20
[公的機関・団体]	5	4		2	6		1	18
研究機関				1	1			2
行政機関	5	4		1	5		1	16
その他								
[教育機関]			1		2		1	4
大学			1				1	2
高・中学校					2			2
進学、その他	6	10	12	11	9	6	7	61
合計	25	40	67	46	45	16	29	268

10) 平成18年度 農学研究科博士後期課程各専攻出身者の活動状況（職務内容別）

専攻 職務内容	農学	森林科学	応用生命科学	応用生物科学	地域環境科学	生物資源経済学	食品生物科学	合計
[民間企業]	1	4	6	4	1	2	4	22
研究	1	2	5	4			2	14
技術		2	1		1	1	2	7
経営・管理 企画・開発 専門知識サービス 営業 その他						1		1
[公的機関・団体]	3	1	1	5	6		2	18
研究	3		1	5	6		2	17
技術		1						1
行政・管理 その他								
[教育機関]	3	7	11	6	4	1	5	37
大学	3	7	11	5	4	1	5	36
高・中学校				1				1
進学、その他	1	3		5	3		2	14
合計	8	15	18	20	14	3	13	91

11) 教員の表彰・活動状況（平成18年度）

専攻等	学会賞等を受賞した専任教員数	日本学士院賞、同恩賜賞等の受賞教員数	政府、地方公共団体の審議会等の委員	左のうち政府審議会等委員
農学	1		2	
森林科学	1		3	
応用生命科学	3		3	2
応用生物科学	3		2	2
地域環境科学	7		3	2
生物資源経済学	0		6	1
食品生物科学	1			
附属牧場				
附属農場				
合計	16	0	19	7

12) 大学院学生のT A、R A、及び日本学術振興会特別研究員の受入（18年度）

年度	T A採用者数		日本学術振興会特別研究員の受入数		リサーチアシスタント採用数
	T A採用者数 (修士課程)	T A採用者数 (博士課程)	日本学術振興会特別研究員の受入数 (D C)	日本学術振興会特別研究員の受入数 (P D)	
2002	158	116	10	6	21
2003	162	103	11	5	40
2004	182	138	16	5	45
2005	225	89	17	3	79
2006	237	85			78

13) 農学研究科教員の配置

(平成19年4月1日現在)

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
農学専攻	8	7 (1)	2	9 (1)	26 (2)
森林科学専攻	11	8	3 (1)	10	32 (1)
応用生命科学専攻	11 (1)	10		14 (1)	35 (2)
応用生物科学専攻	10	13	1	14 (2)	38 (2)
地域環境科学専攻	9	9 (1)	4	16 (3)	38 (4)
生物資源経済学専攻	6 (1)	5	2	4 (1)	17 (2)
食品生物科学専攻	6	7 (1)		7 (1)	20 (2)
附属牧場		1			1
附属農場	1	1		5 (1)	7 (1)
合 計	62 (2)	61 (3)	12 (1)	79 (10)	214 (16)

() 内は女性で内数

14) 農学研究科教員の構成

年 度	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
2002	72 (3)	68 (3)	12 (2)	86 (9)	238 (17)
2003	69 (3)	62 (2)	4 (7)	77 (7)	212 (19)
2004	73 (3)	60 (2)	11 (2)	83 (7)	227 (14)
2005	66 (2)	61 (3)	13 (1)	79 (7)	219 (13)
2006	65 (2)	64 (3)	11 (1)	80 (10)	220 (16)

() 内は女性で内数

15) 農学研究科・農学部教員の年齢構成

(平成19年4月1日現在)

年齢区分	教 授	准教授	講 師	助 教	合 計
60歳以上	13	2		1	16
59～55	25	5		3	33
54～50	18	15		1	34
49～45	6	20	6	2	34
44～40		11	2	25	38
39～35		8	3	26	37
34～30			1	15	16
30歳未満				6	6
合 計	62	61	12	79	214

16) 農学研究科／農学部管理運営に係わる各種委員会

委員会名	構成	所管事項
専攻長会議	研究科長、副研究科長、各専攻長、附属施設長	研究科教授会、研究科会議の議題調整その他研究科の管理運営にかかわる事項
学科長会議	学部長、副研究科長、各学科長、(コース長)	学部教授会の議題整理その他学部の管理運営にかかわる事項
研究科教務委員会	副研究科長、各専攻の教授1名	大学院の入試、教育にかかわる事項
学部教務委員会	副研究科長、各学科の教授1名、入選研委員	学部の入試、教育にかかわる事項
将来構想検討委員会	研究科長、副研究科長、各専攻の教授1名、事務部長	研究科の将来構想にかかわる事項
制度・組織等検討委員会	副研究科長、各専攻の教授1名、附属農場の教授1名、事務部長	学部、研究科の制度・組織などにかかわる事項
建築委員会	副研究科長2名、各専攻の教授1名、附属農場の教授1名	土地利用と建築計画にかかわる事項
広報委員会	副研究科長2名、京都大学広報委員会委員、各専攻・施設の教員1名、総務課長、教育・研究協力課長	広報活動に関する企画・立案・実施
比較農業論講座運営協議会	副研究科長、同講座教員、留学生専門教育教員、各専攻の教授1名	比較農業論講座の運営にかかわる事項
研究活動推進委員会	副研究科長、各専攻・附属農場の教授1名、	研究活動の推進にかかわる事項
評価委員会	研究科長、副研究科長、専攻長、学科長、附属施設長、事務部長	研究科、学部の評価にかかわる事項
研究活動評価専門委員会	副研究科長、評価委員会の指名する教員若干名	
教育活動評価専門委員会	副研究科長、評価委員会の指名する教員若干名	研究科、学部の教育活動評価にかかわる事項
年報編集専門委員会	副研究科長2名、各専攻・学科・施設の教員1名、	年報の編集・刊行に関する事項
学生生活委員会	副研究科長、京都大学学生部委員会委員、各専攻の教員1名	学生の補導、学生部委員候補者の選出など
国際交流委員会	副研究科長、京都大学国際交流委員会委員、留学生専門教育教員、各専攻・施設の教員1名	国際交流、外国人留学生、学部・大学院生の国費による海外派遣、留学生室の運営など
図書委員会	附属図書館協議会協議員、各専攻・附属農場の教員1名	図書、雑誌の購入、図書館の運営などにかかわる事項
環境・安全・衛生委員会	副研究科長、各専攻の教員1名	環境保全整備、安全対策に関する事項
情報システム運営委員会	副研究科長、各専攻・附属農場の教員1名、学術情報メディアセンター協議員、事務部長	情報システムの運営に関する必要な事項

委 員 会 名	構 成	所 管 事 項
情報セキュリティ委員会	研究科長、副研究科長、附属施設の教員1名、学術情報メディアセンター協議員、KUINS利用負担金検討委員会委員、情報環境機構コンピュータシステム運用委員会委員、情報システム運営委員会委員、事務部長、総務課長、経理課長、教育・研究協力課長	情報セキュリティに関する事項
人権問題対策委員会	京都大学人権委員会委員、カウンセリングセンター管理運営委員会委員、京都大学学生部委員会委員、副研究科長1名、各専攻の教授1名、事務部長	人権侵害にかかわる諸問題の防止
放射線障害防止委員会	研究科長、放射性同位元素等管理委員会委員、放射線障害予防小委員会委員、放射線取扱主任者及び副主任者、エックス線作業主任者及び副主任者	放射線同位元素及びエックス線の安全性に関する問題、教育、訓練、施設の改廃、維持に関する事項
動物実験委員会	京都大学動物実験委員会委員、動物実験を取扱う分野等の教員	動物実験計画書の審査、動物実験に関する助言

17) 施設設備（農学研究科・農学部：吉田地区北部構内）

区 分	建 物		
	築 年	建面積 (㎡)	延面積 (㎡)
農学部			
農学部総合館	昭42	789	3,555
〃	昭44	1,238	5,215
〃	昭47	1,976	9,585
〃	昭48	1,375	7,965
〃	昭50	675	4,050
〃	昭52	731	4,400
〃	昭53	0	226
〃	昭59	221	1,569
〃	昭62	0	141
〃	昭63	255	2,040
〃	平 8	0	113
旧農業簿記研究施設	昭 8	187	415
〃	昭41	109	327
農学部危険物倉庫	昭39	22	22
ガンマー線照射室	昭36	25	25
〃	昭42	109	109
農学部機械工作場	昭46	264	330
農芸化学科棟	平 6	384	1,782
農・林学科温室実験室	昭45	133	133
農学科温室南棟	平 7	85	85
熱帯農学専攻温室	平 7	85	85
農薬研究施設	昭39	331	430
〃	昭46	0	265
〃	昭57	49	95
農薬研農薬試験室	昭40	122	122
農業工学科温室	昭 6	172	172
〃	平 6	0	69
農芸化学科温室	平 6	132	132
農芸化学科準備室	平 6	32	32
農学科温室東棟	平 6	148	148
農学科温室西棟	平 6	148	148
農学部ガラス温室	昭48	79	79
農学部危険物倉庫	昭50	22	22
農学部温室	昭52	98	98
農業工学科機器収納庫	昭58	173	265
畜産学科家畜実験室	昭58	56	56
農学部資料館	昭58	95	166
初期胚操作動物実験室	昭61	733	733
農学科育種学温室	昭62	138	138
農学専攻形質転換体植物順化室（温室）	平13	113	113

植物遺伝学バイオリソース温室	平15	57	57
農学専攻形質転換体植物育成室（温室）	平15	59	59
総合研究棟（農・生命）	平17	935	7,729
その他		960	1,069
計		13,315	54,369

18) 施設設備（農学研究科・農学部：宇治地区構内）

区 分	建 物		
	築 年	建面積（㎡）	延面積（㎡）
宇治地区研究所			
宇治地区研究所本館	昭41	0	28
〃	昭43	0	57
〃	昭45	686	3,106
〃	昭54	0	223
植物栽培・動物実験室	昭47	124	124
〃	昭47	94	94
〃	昭48	64	64
新食品素材製造実験室	昭59	160	160
その他		63	63
計		1,191	3,919

19) 施設設備（附属農場）

区 分	建 物		
	築 年	建面積（㎡）	延面積（㎡）
本場（八丁畷）			
肥料庫	昭 5	113	113
〃	昭43	7	7
蔬菜部堆肥舎	昭 4	59	59
摂津農場危険物倉庫	昭41	6	6
蔬菜選別室	昭 3	83	83
コンクリート倉庫	昭 5	86	86
農機具舎	昭 5	116	116
炊事室	昭 5	48	48
〃	昭55	4	4
加工室	昭 8	308	308
農場本館（管理所）	昭 5	333	469
農場別館	平 6	161	161
蔬菜ガラス室	平10	99	99
研究室（作物果樹蔬菜）	昭36	165	165
〃	昭46	132	132
機械格納庫	昭46	197	197
危険物倉庫	昭48	3	3

畜産堆肥舎	昭55	35	35
農場ガラス温室	昭56	202	202
農場水田バラック	昭3	178	178
蔬菜選別室	昭48	28	28
畜糞処理施設	昭59	108	108
〃	昭60	18	18
〃	昭61	9	9
農場車庫	昭61	70	70
農場学生更衣室	昭61	59	59
農場コンバイン収納庫	総61	48	48
農場薬剤室	昭63	58	58
果樹温室	平4	281	281
堆肥舎	平9	123	123
簡易トイレ	平17	4	4
(小計)		(3,141)	(3,277)
本場（古曽部地区）			
大サボテン室	昭7	99	99
小サボテン室	昭16	46	46
大温室	昭51	141	141
〃	昭53	118	118
〃	昭55	185	185
〃	昭57	23	23
〃	昭57	44	44
〃	昭58	81	81
古曽部温室	昭47	119	119
古曽部演芸場実験室	昭47	48	48
温室研究室	昭53	208	208
(小計)		(1,112)	(1,112)
京都農場			
作物乾燥室	大15	119	119
〃	大15	20	20
〃	昭45	44	44
農場材料庫	大14	46	46
園芸実験室	大14	89	178
(小計)		(318)	(407)
計		4,571	4,796

20) 施設設備（附属牧場）

区 分	建 物		
	築 年	建面積 (m ²)	延面積 (m ²)
附属牧場			
収納舎	昭45	162	162
牧場宿泊室	昭45	89	89
堆肥舎	昭54	100	100
繁殖育成牛舎棟	昭54	988	988
管理宿泊棟	昭55	472	939
解体室棟	昭56	147	147
大農具舎棟	昭56	487	487
中小家畜棟	昭56	293	293
肥育牛舎棟	昭56	463	463
堆肥置場	昭56	200	200
危険物倉庫	昭56	8	8
第2堆肥置場	平8	192	192
堆肥処理場	平8	184	184
計		3,785	4,252

21) 施設設備（農学研究科・農学部：物集女地区）

区 分	建 物		
	築 年	建面積 (m ²)	延面積 (m ²)
栽培植物起源学研究室			
栽培植物起源学研究室本館	昭17	129	129
栽培植物起源学研究室倉庫	昭19	87	87
栽培植物起源学研究室第1温室	平4	70	70
栽培植物起源学研究室第2温室	昭42	70	70
栽培植物起源学研究室第3温室	昭50	77	77
栽培植物起源学研究室第4温室	平8	70	70
栽培植物起源学研究室第5温室	平8	70	70
栽培植物起源学研究室科学実験室	昭19	115	115
栽培植物起源学研究室職員宿舎	昭47	48	48
栽培植物起源学研究室標本庫	平4	42	84
栽培植物起源学研究室バイオリソース温室	平15	70	70
その他		72	72
計		920	962

22) 農学研究科／農学部の建物整備状況

団地名	施設名称	保有面積 (a)m ²	必要面積 (b)m ²	不足整備面積 (c=b-a)m ²	不足割合 (c/a)%
北 部	農学部	38,400	58,650	20,250	34.5
宇 治	農学部	3,901	3,901	0	0.0
丹 波	附属牧場	3,908	3,908	0	0.0
物集女	栽培植物起源学研究室	844	844	0	0.0
長 浜	舞鶴水産実験所	763	763	0	0.0
八丁畷	農学部	199	199	0	0.0
合 計		48,015	68,265	20,250	29.7

23) 購入外国雑誌タイトル数の推移

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
タイトル数	502	549	490	473	448	448	336

24) 文献複写処理件数の推移

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
受付件数	7,850	7,063	4,484	3,473	3,388	3,249	2,338
依頼件数	2,897	2,700	1,226	1,026	1,321	968	1,003

25) 京都大学農学部・農学研究科部局間学術交流協定覚書締結リスト

2007年3月現在

番号	締結先機関名 (英文名)	国名	締結年月日
1	ウィスコンシン大学マディソン校農学・生命科学部 (College of Agricultural and Life Sciences, University of Wisconsin-madison)	アメリカ合衆国	昭和48年6月4日
2	ボゴール農科大学 (Bogor Agricultural University)	インドネシア	昭和58年7月26日 (平成13年11月28日)
3	ロンドン大学ワイ校 (Wye College, London University)	イギリス	昭和58年7月26日
4	コーネル大学農業・生命学部 (Cornell University)	アメリカ合衆国	平成元年8月4日
5	ハノーバー大学景観保全・自然保護研究所 (Hannover University)	ドイツ	平成3年4月18日
6	ウィーン農科大学 (Wien Agricultural University)	オーストリア	平成4年7月30日
7	アントファガスタ大学海洋資源学部 (Universidad de Antofagasta)	チリ	平成4年10月26日
8	ソコイネ農科大学 (Sokoine University of Agriculture)	タンザニア	平成6年2月14日
9	カザフ農業大学 (Kazakh State University of Agriculture)	カザフスタン 共和国	平成10年7月3日
10	コンケン大学 (Khon Kaen University)	タイ	平成12年6月5日 (平成13年6月22日)
11	仁済大学校医生命工学大学/仁済大学校大学院 (College of Biomedical Science and Engineering, Inje University /Graduate School of Inje University)	大韓民国	平成13年4月25日 (平成13年4月25日)
12	上海水産大学 (Shanghai Fisheries University)	中国	平成15年10月24日 (平成18年3月20日)
13	南京農業大学 (Nanjing Agricultural University)	中国	平成16年10月21日 (平成16年10月21日)
14	昆明理工科大学 (Kunming University of Science and Technology)	中国	平成18年9月21日 (平成18年9月21日)
15	東北林業大学 (Northeast Forestry University)	中国	平成18年12月30日 (平成18年12月30日)

※ () 内は学生交流協定(授業料等不徴収)の締結年月日

26) 学部・大学院学生の外国留学数

年 度	学部学生	修士課程	博士課程	合 計
2003	2	4	3	9
2004	2	1	0	3
2005	3	1	0	4
2006	1	3	0	4

27) 外国人留学生受入状況

年 度	学部学生	修士課程		博士課程			合 計
	国 費	国 費	私 費	国 費	外国政府 派遣	私 費	
2002	1	4	5	11	2	4	27
2003	1	3	8	15	0	12	39
2004	0	2	11	6	0	5	24
2005	0	5	6	12	0	12	35
2006	0	7	5	4	0	5	21

29) 公開講座等

1. 森林科学専攻の公開講座（有料）

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年10月16～17日	森と木から見える世界	124	農学研究科
平成17年10月22～23日	サステナブルって何ですか? ー広がる森の見方ー	63	生存圏研究所
平成18年10月28日	森を観るミクロな目・マクロな目	54	農学研究科

*本件は森林科学専攻と木質科学研究所（平成16年度より生存圏研究所）が合同で毎年交互に開催

2. 生物資源経済学専攻の公開講座（有料）

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年7月12～14日	第68回農林経済・経営・簿記講習会	112	農学研究科
平成17年7月11～13日	第69回農林経済・経営・簿記講習会	148	農学研究科
平成19年1月15～17日	第70回農林経済・経営・簿記講習会第一クラス 農業経営におけるビジネス・マインド	9	農学研究科
平成18年7月24～26日	第二クラス 地域農業・農業経営のコーディネート	13	
平成18年7月27～29日	第三クラス 食品トレーサビリティの原理と応用	32	

3. 附属農場の公開講座（無料）

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年11月7日	農業と食料の未来ーその1ー	75	附属農場
平成17年11月3日	農業と食料の未来ーその2ー	58	附属農場
平成18年11月3日	食料としての大豆の意義	57	附属農場

4. 農学研究科公開シンポジウム（無料）

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成16年11月30日	お酒からのメッセージー食・生活・文化との関わりを探る	486	百周年記念ホール
平成17年7月15日	食の安全性をめぐって	321	百周年記念ホール
平成18年6月23日	高品質牛肉生産に関する研究 ービタミンC投与と牛肉の質の関係Ⅱー	155	京大会館
平成18年5月25日	連続シンポジウム 多様性の中の統一を目指して	第一回	農学研究科
平成18年6月29日		第二回	
平成18年7月27日		第三回	
平成18年10月26日		第四回	
平成18年11月30日		第五回	
平成18年12月22日		第六回	
平成19年2月15日	公開シンポジウム 未来と地球を見据えた食の研究	110	京大会館
平成19年2月15日 ～17日	国際シンポジウム アジアのマツ枯れ	90	百周年記念ホール

5. その他

・COE 昆虫科学国際シンポジウム

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成17年3月2日 ～3日	(第1回)Development and Metamorphosis	120	京大会館
平成17年10月31日 ～11月2日	(第2回)「Innovative Food and Environmental Studies Pioneered by Entomomimetic Sciences」	180	芝蘭会館

・COE シンポジウム等

開催日	テーマ等	参加者	開催場所
平成17年7月2日	第1回COE 昆虫科学講演会 「虫の見る目、虫を見る目」	75	農学研究科
平成18年6月24日	共催シンポジウム なぜ“自然を知ること”が大切なのか？ ー子ども達への環境教育が拓く奄美の未来ー	260	龍郷町 りゅうゆう館